

所 属	健康福祉環境部	生活衛生課
担当(係)名	食品乳肉係	内 線 2565

(款)4衛生費	(項)3公衆衛生費	(目)(2)食品衛生指導費
(明細書事業名) 乳肉衛生指導費 牛海綿状脳症(BSE)検査事業		

1 当初予算(要求)額(千円)

130,553

2 当初予算(決定)額(千円)

130,553

(前年度118,378)

【財源内訳】

国 庫

115,720

一般財源

14,833

3 事業概要

国内で牛海綿状脳症(BSE)が発生したことから、県下の食肉処理場に搬入されるすべての牛について、食肉衛生検査所と飛騨地域保健所において、極めて感度の高い検査方法(エライザー法)によるスクリーニング検査を実施する。

この検査において陽性となったものは、国の検査機関においてさらに精度の高い検査(ウエスタンプロット法、免疫組織科学検査)を行い、双方が陰性で無ければ合格しない。

当該検査を実施することにより牛肉の安全確保を図る。

4 施策の効果

県内の食肉処理場に搬入される全ての牛について、BSEスクリーニング検査を実施することにより牛肉の安全性を確保するとともに、消費者の不安を解消することができる。

5 要求の内容

牛海綿状脳症検査キット購入費(115,720千円)

検査キットの購入

牛海綿状脳症スクリーニング検査実施費(14,540千円)

検査に伴う消耗品の購入等

牛海綿状脳症スクリーニング検査廃液処理費(293千円)

検査に伴い排出される廃液の処理

6 用語の解説

牛海綿状脳症(BSE)...プリオンとも呼ばれるたんぱく質が異常化し増えることによって、脳細胞が死滅し、行動異常などの症状を呈し、死に至る牛の病気である。

その症状から狂牛病と呼ばれ、ヒトの「変異型クロイツフェルト・ヤコブ病」と関連があると言われている。

7 決定内容

牛海綿状脳症検査キット購入費 115,720千円

牛海綿状脳症スクリーニング検査実施費(単独) 14,540千円

牛海綿状脳症スクリーニング検査廃液処理費 293千円